

だれもがキラリ★

発表！「男性の家事・育児力全国ランキング」 2025年分



大手住宅メーカーが、毎年独自に実態調査している※「男性育休白書」で、男性の家事、育児力実態調査を都道府県別に集計した結果、総合で全国1位は「沖縄県」（213点/前年1位）、2位は「岡山県」（184点/前年25位）、3位は「福井県」（180点/前年10位）になりました。沖縄県は2024年に続き今回も全国1位でした。岡山県は、総合で**昨年の25位から2位になりました！**

※ 調査は、配偶者と小学生以下の子どもと同居する20～50代の男女計約9,300人、一般生活者2,000人を対象にインターネットで実施。妻から見た男性の家事への関与度や1週間当たりの家事・育児時間など5項目を数値化し、順位を付けたもの。

がんばっている！
岡山県の男性

項目	順位等
女性（妻）から見た男性（夫）の1週間の家事・育児時間	👑 1位 18.7時間/週
男性の育休取得日数	6位 19.0日
女性から（妻）見た男性（夫）の家事・育児の実践数 (28種類の家事・育児(食後の洗い物、子どもの歯磨き、子どもと遊ぶ等))	10位 7.5個
女性から（妻）見た男性（夫）の家事・育児関与度	18位
男性が感じる家事・育児の幸福度	21位

男性が家事・育児に
幸せを感じているか

男性が楽しみながら家事・育児
に関わっているか



しかし

限られた一日……

女性は家族のために一日中働いている実態があります



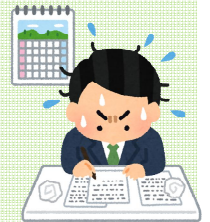
一日あたりの家事に費やす時間は、**女性7時間28分、男性1時間54分**（総務省「社会生活基本調査 2021年」）と**女性の方が4倍**も家事に費やし、妻はフルタイム勤務とほぼ同じ時間を家事・育児にも使っています。

かつては夫が働き、妻が専業主婦として家庭や地域で役割を担うという姿が一般的でしたが、**共働き世帯が、全体の7割に達している状況**の現在も働き方や子育て支援は、こうした**変化に対応したものになっていません**。子育て世代のワーク・ライフ・バランスをめぐる状況は、男女ともにまだまだ厳しいようです。



このように男性の家事・育児に費やす時間が少ない国は日本だけなのでしょうか。

OECD（経済協力開発機構）が、2020年にまとめた次ページの生活時間の国際比較データ（15~64歳の男女を対象）によると、諸外国と比較した場合、我が国は次のような特徴があります。



・以前は短かった女性の有償労働時間（主に仕事）が伸びた。男性も女性も有償労働時間が長いが、特に男性の有償労働時間は極端に長い。



・無償労働（主に家事）が女性に偏るという傾向が極端に強い。

・男女とも有償・無償をあわせた総労働時間が長く、時間的にはすでに限界まで「労働」している。

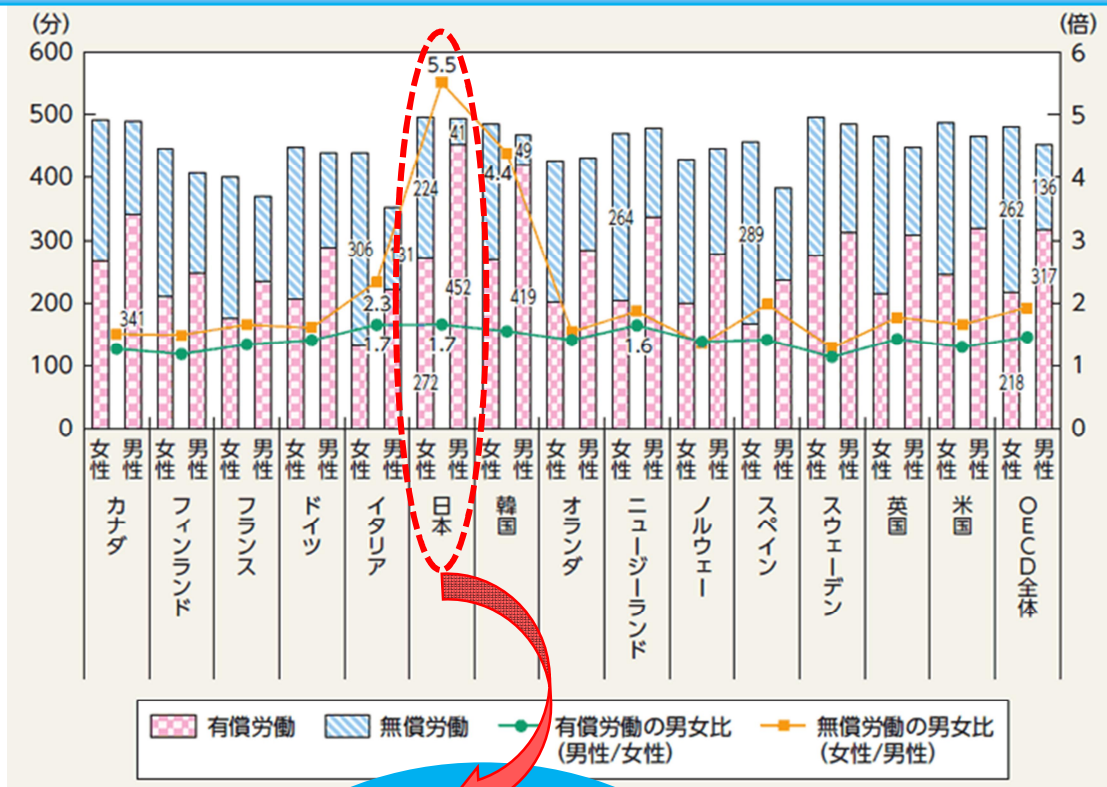


日本男性は「もっと家事・育児・介護を分担しましょう!」と言われても、際立って長い有償労働の時間が現状のままでは難しいかもしれません。仕事にける時間を見直してその分を家事・育児・介護に回しましょう!」ということになるでしょう。もっとも、男性の有償労働時間を減らしても収入は維持しなければならないから、テレワークで通勤時間を減らすことも含めて男性自身の時間あたり収入が増えること、共働き世帯であれば妻の時間あたり収入が今よりも増えることが必要になってくると考えられます。

（引用 参考資料 男女共同参画白書令和2年度版）

男女別生活時間国際比較 <週全体平均、一日あたり>

引用:内閣府男女共同参画白書令和2年版



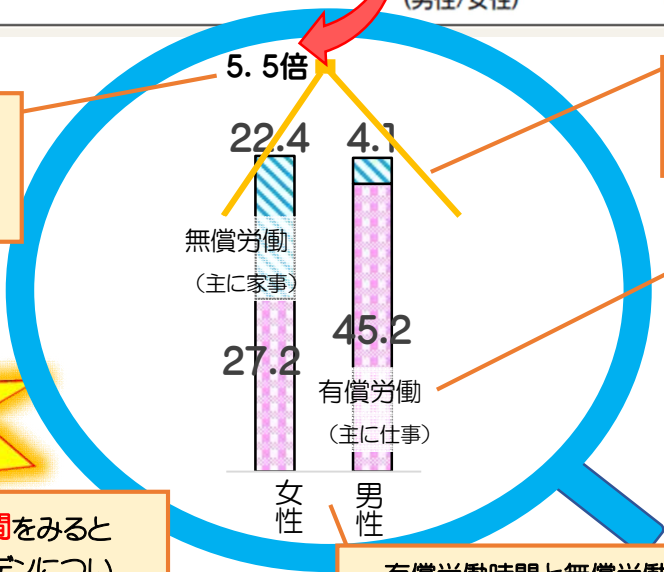
家事時間の男女比が一番大きいのは日本の5.5倍

無償労働時間は、日本男性が一番短い

先進国の中で日本男性の有償労働時間(主に仕事)が一番長い

さらに睡眠時間も

睡眠時間、食事の時間をみると比較國中、男性はスウェーデンについて短く、日本女性は女性の中で一番短い



有償労働時間と無償労働時間の合計時間(総労働時間)は日本女性、スウェーデン女性、日本男性が長く、男女別で日本は男女とも総労働時間が最長

あとかき

島根県ホームページに掲載の家事川柳です。ほのぼのとして温かいご家庭の様子が伝わってきます。今まで気づかなかった家族への感謝の気持ちが生まれ、信頼関係も深まっているようです。家事分担、家事シェアは「きれいにする」だけでなく「夫婦・家族の絆が強まり、人生も豊かにする」ものだと感じられました。

家事川柳

出典：島根県ホームページ

- ◆ 子はかすがい 家事はやりがい 合言葉 さごしょうさん
- ◆ 「おれやるよ」 愛してるより ささります まんまさん
- ◆ 家事をして気づいた欠けてた思いやり だいちゃんZ!さん
- ◆ できなくてごめんねじゃなくてありがとう & そう言える夫婦になってうれしいな みーちゃん たーくんさん

DV 被害者は、女性だけではない

目立たない男性の DV 被害

スマホに登録していた電話番号を勝手に消される

リビングへの立ち入り禁止の札を貼る(孤立させる)

スマホやバックの中身を勝手にチェックする

平手打ち、蹴り、モノを投げるなどの暴行をする

「死ね」「クズ」「役に立たず」などの暴言

「お金さえもってかえればばいい」「ATM なんだから」という暴言

無視する、口をきかない

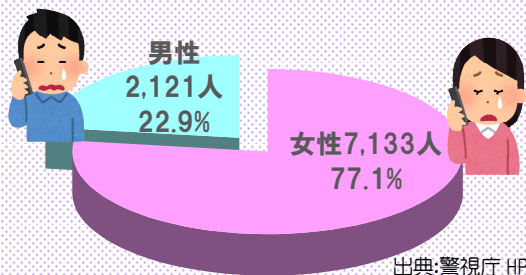
冬、寒い中外に出される

家族の食事は作るが、夫はカップ麺やパンだけ



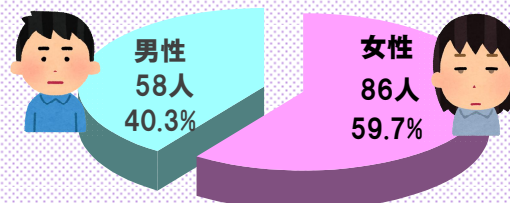
男性 DV 被害者の実態

DV 相談者の性別(令和 6 年中)



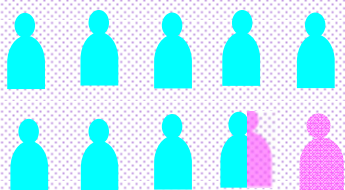
配偶者による犯罪(殺人)被害者の割合

(令和 2 年分)



妻からの DV の多くは、身体的なものより、暴言、無視、行動制限、モラハラ等で精神的に追いこんでいくのが特徴です。相談できずに深刻化するケースが多くなっています。

夫婦関係の不和(DV)を原因とした自殺の状況



男性 81 人、女性 12 人で
夫は妻の **6.7 倍**

出典：厚生労働省 HP 「令和 5 年中における自殺の状況」

男性のための 電話相談

相談無料 秘密厳守

話してみませんか。専門の男性相談員が、お電話をお受けします。匿名で相談できます。

生活力 人間関係 家族 健康 DV 孤独感 夫婦関係

ひとりで悩みや不安を抱えこまず、お気軽にお電話ください。

電話番号【男性相談専用】
086-221-1270

毎月 第 2・第 4 土曜日
13:30~16:30

※この相談に関するお問い合わせ先
岡山県男女共同参画推進センター【ウィズセンター】
〒760-0801 岡山県北區津島 1-13-1 くらめプラザ4階 TEL:086-225-3397

岡山県男女共同参画推進センターHP(ウィズセンター)
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/187/>

【編集/発行/問合せ先】

玉野市男女共同参画推進センター 玉野市奥玉 1-18-5 (すこやかセンター内)
TEL:(0863) 33-7867 E-mail: danjyo@city.tamano.okayama.jp